

令和5年度 博多区地域包括ケア推進会議

日時:令和5年12月1日(金)18時~19時半
場所:博多区役所5階 集団指導室

会議次第

1 開会挨拶 博多区保健福祉センター 所長

2 委員自己紹介

3 議題

(1)博多区高齢者に関わる統計等報告 P2~8

(2)令和5年度地域ケア会議の報告 P9

・専門部会

●在宅医療・介護部会

●権利擁護部会

●生活支援・介護予防部会

・圏域連携会議・高齢者地域支援会議・個別支援会議

・博多区の実践事例の中で特徴あるもの(参考資料) P10

(3)意見交換

4 その他

5 閉会挨拶 博多保健所 所長

添付資料

①福岡市博多区地域包括ケア推進会議設置要綱

①-2福岡市博多区地域包括ケア推進会議傍聴要領

②福岡市地域包括ケアアクションプラン2021~2026(新任委員のみ)

③福岡市エンディングノート(新任委員のみ)

○博多区地域包括ケア推進会議委員名簿

委嘱任期：令和3年7月～令和6年6月

団体	氏名	所属・役職等	
医師会	安田 哲二郎 委員	博多区医師会 会長 (はかたペインクリニック外科・麻酔科)	
歯科医師会	加茂 公平 委員	博多区歯科医師会 会長(加茂歯科医院)	新任
薬剤師会	高木 淳一 委員	福岡市薬剤師会 副会長(誠心堂薬局)	
福岡県弁護士会	吉永 裕介 委員	福岡県弁護士会(吉村敏幸法律事務所) ※権利擁護部会長	
福岡県司法書士会	佐藤 直幸 委員	福岡県司法書士会(佐藤直幸司法書士事務所)	
自治協議会長協議会	牧山 篤盛 委員	博多区自治協議会長連絡協議会代表 (東月隈校区自治協議会会長)	
衛生連合会	石井 早苗 委員	博多区衛生連合会 会長 (弥生校区衛生連合会代表理事)	
民生委員児童委員協議会	岡部 敏治 委員	民生委員児童委員協議会 会長 (第2地区民生委員・児童委員協議会会長)	
社会福祉協議会	本郷 清志 委員	福岡市社会福祉協議会博多区運営部会 部会長 ※生活支援・介護予防部会長	新任
老人クラブ連合会	木原 正道 委員	博多区老人クラブ連合会 会長	新任
公民館 館長会	井手 啓二 委員	博多区公民館館長会 代表(弥生公民館長)	
認知症の人と家族の会 福岡県支部	立野 栄子 委員	認知症の人と家族の会福岡県支部 世話人	
社会福祉施設代表 (介護老人福祉施設協会代表)	矢ヶ部 二郎 委員	福岡市老人福祉施設協議会 代表 (特別養護老人ホーム 博多さくら園 施設長)	
介護支援専門員ネットワーク	山下 咲恵 委員	ケアマネット博多 代表 (居宅介護支援事業所 ビバーナム)	
訪問看護ステーション連絡会	藤野 真太郎 委員	訪問看護ステーション連絡会 代表 (訪問看護ステーション ぴーす月隈)	新任
博多警察署	柴田 隆 委員	博多警察署 生活安全課長	
博多消防署	佐藤 英雄 委員	博多消防署 予防課長	新任
博多区保健福祉センター	平田 英明 委員	博多区保健福祉センター 所長	
博多保健所	園田 紀子 委員	博多保健所 所長	

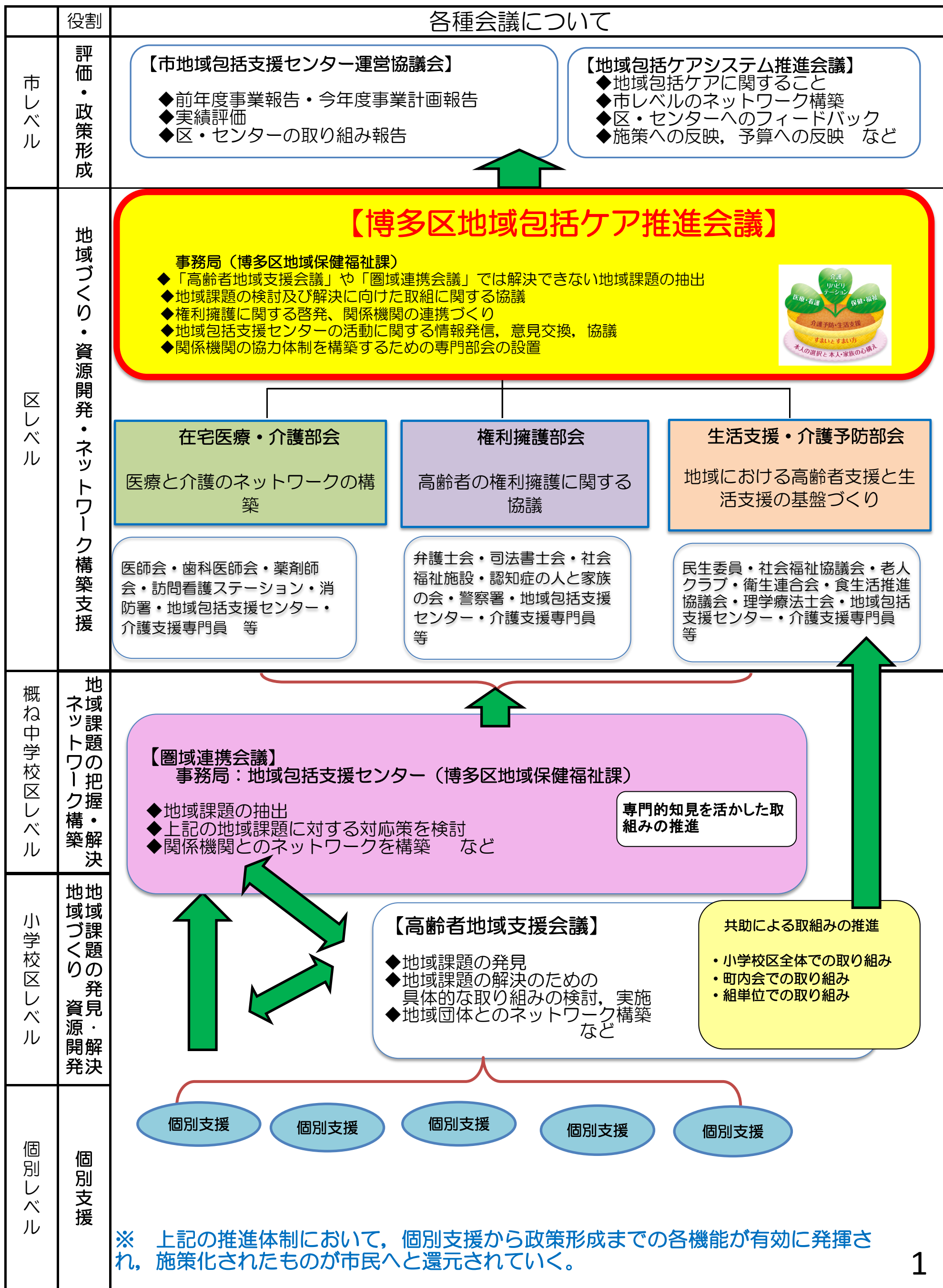
○事務局

所属	氏名	役職等	
地域保健福祉課	大久保 典子	地域保健福祉課長	
	今福 正二郎	地域福祉ネットワーク担当主査	
	竹本 歩	権利擁護等担当主査	新
	水崎 亜紀	地域保健福祉第1係長	
	上田 里佳	地域包括ケア推進係長	新
	平山 賢子	地域包括ケア推進係	

○地域包括支援センター

所属	氏名	役職等	
博多第1いきいきセンターふくおか	大森 裕之	管理者	
博多第2いきいきセンターふくおか	山口 佳子	管理者	
博多第3いきいきセンターふくおか	青木 洋	管理者	
博多第4いきいきセンターふくおか	高木 富士子	管理者	
博多第5いきいきセンターふくおか	岡崎 瞳	管理者	
博多第6いきいきセンターふくおか	日高 昌子	管理者	
博多第7いきいきセンターふくおか	佐野 純一	管理者	新
博多第8いきいきセンターふくおか	村田 由美	管理者	新

博多区地域包括ケアシステム構築に関する会議



3(1) 博多区高齢者に関わる統計等報告

1) 博多区の高齢者の状況

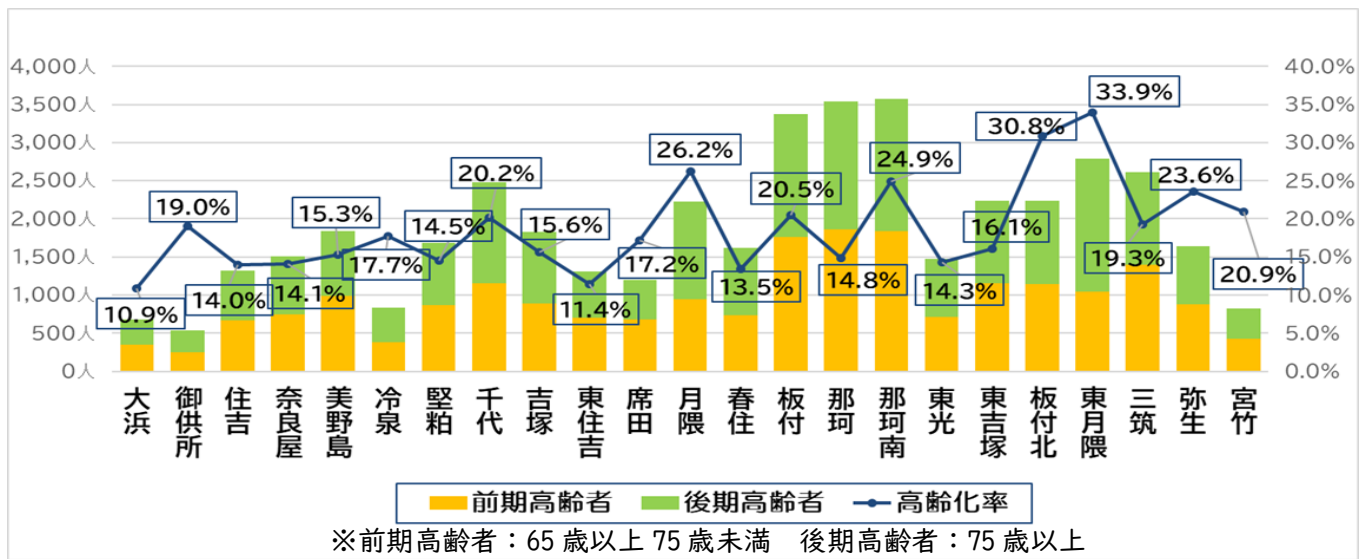
①福岡市区別の高齢者人口(R5.3月末現在福岡市住民基本台帳登録人口(外国人含む)) <表1>

	福岡市	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
総人口	1,582,298	322,422	239,438	198,217	266,839	126,059	221,578	207,745
65歳以上	352,063	72,326	43,262	37,724	61,955	32,325	54,319	50,152
65歳以上の割合	22.3%	22.4%	18.1%	19.0%	23.2%	25.6%	24.5%	24.1%
うち75歳以上	178,642	36,523	21,702	18,737	31,635	16,587	27,317	26,141
75歳以上の割合	11.3%	11.3%	9.1%	9.5%	11.9%	13.2%	12.3%	12.6%

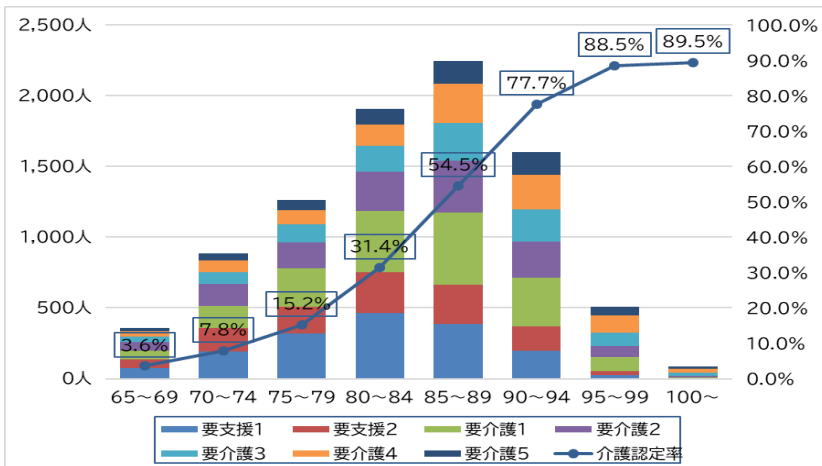
②福岡市区別 65歳以上がいる世帯のうち単身世帯の割合(令和2年国勢調査) <表2>

	福岡市	東区	博多区	中央区	南区	城南区	早良区	西区
65歳以上がいる世帯(A)	223,683	45,283	28,472	25,002	39,779	20,791	34,157	30,199
65歳以上の単身世帯(B)	81,715	15,726	12,234	10,775	14,397	7,588	12,074	8,921
65歳以上がいる世帯に対する 65歳以上の単身割合(B)/(A)	36.5%	34.7%	43.0%	43.1%	36.2%	36.5%	35.3%	29.5%

③博多区の校区(地区)別高齢者割合(R5.3月末現在 福岡市 carevision より) <グラフ1>



④年齢別要介護認定状況・認定率(R5.3月末現在 福岡市 carevision より) <グラフ2>



博多区の高齢化率は市内7区で最も低いですが、高齢者の実数は確実に伸びています。

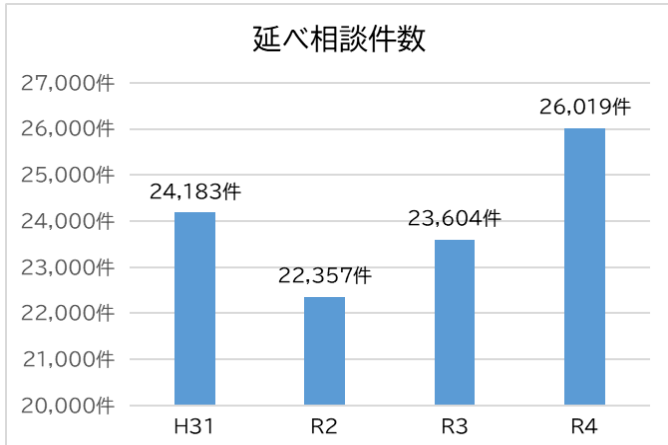
介護認定率は75歳を過ぎると急速に高まっています。

2) 博多区高齢者の相談状況

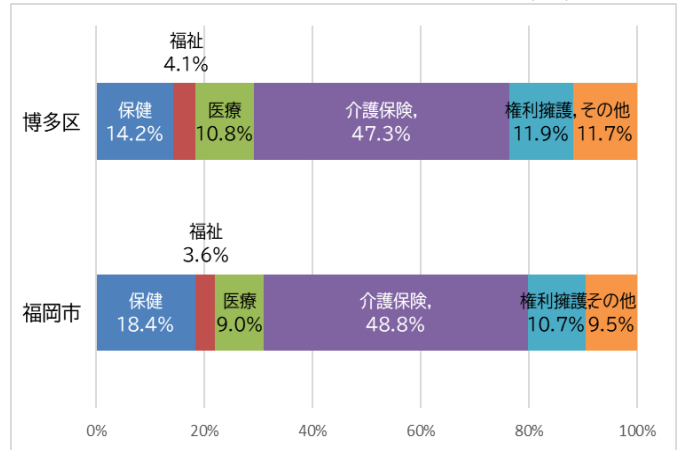
①相談件数の推移 (R5.3 月末現在 地域包括支援センター運営支援システムより) <表3>

	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
実相談件数	3,637	3,058	3,357	3,570
延相談件数	24,183	22,357	23,604	26,019

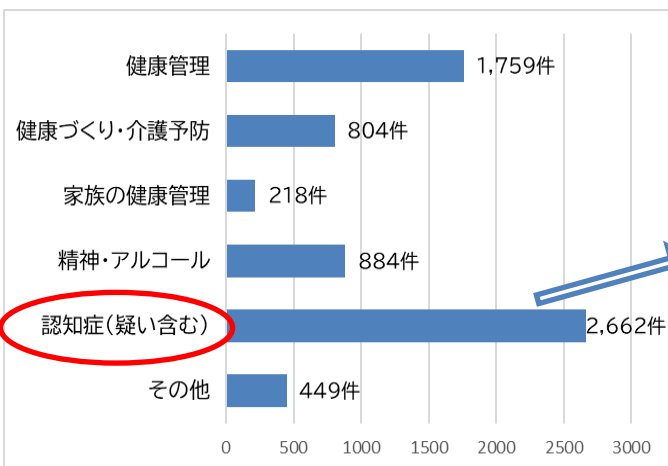
② 延相談件数の推移 <グラフ3>



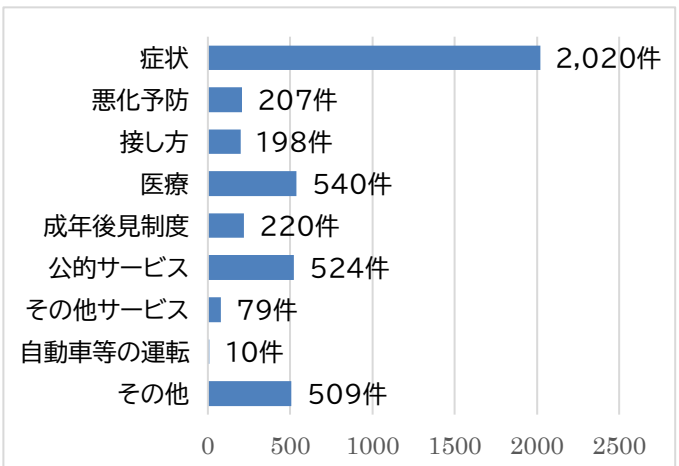
③ 延相談件数のうち主な相談分野 (N=26,019) <グラフ4>



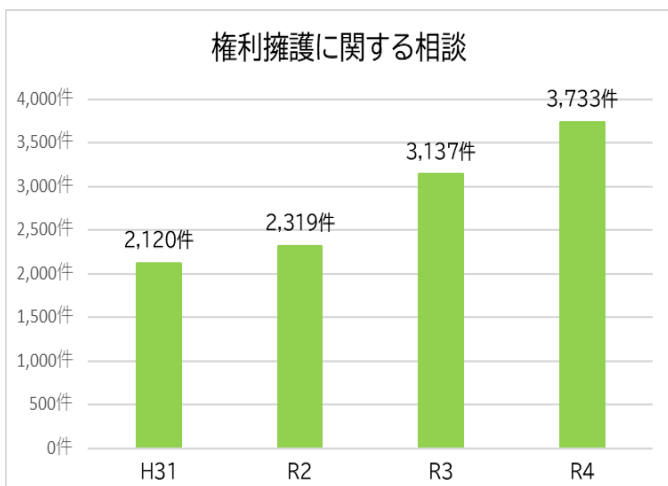
④保健に関する相談内訳<グラフ5>



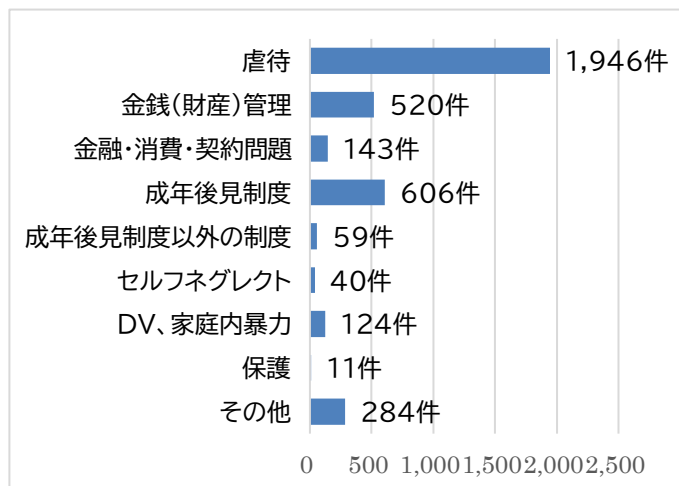
⑤認知症に関する相談内訳<グラフ6>



⑥権利擁護に関する相談の推移 <グラフ7>



⑦権利擁護に関する相談内訳<グラフ8>



3) 博多区介護予防に関する取組み

①介護予防事業 <表4>

事業名	令和3年度	令和4年度
介護予防型個別支援会議	12件	19件
訪問型介護予防事業	実2人 延10人	実0人 延0人
介護予防教室（委託事業）	30回 実38人 延170人	45回 実68人 延306人
生き生き講座（ふれあいあいサロン）	36回 594人	65回 1,116人
生き生き講座（老人クラブ）	22回 429人	25回 435人
生き生き講座（その他自主グループ、公民館講座など）	75回 1,021人	106回 1,456人
生き生き講座 再掲 （オーラルフレイル予防教室）	24回 424人	35回 531人
運動からはじめる認知症予防教室	4回 36人	13回 167人

②よかトレ実践ステーションの創出と継続支援 <表5>

高齢者が身近な場所で気軽に運動を続けられる機会を増やしていきえるように、介護予防に取り組まれている団体や運動を行える施設等を「よかトレ実践ステーション」と認定し活動を支援している。

事業名		令和3年度	令和4年度
よかトレ実践ステーション	団体等	90	90
	施設型	44	51
計		134	141

【登録要件】

よかトレ	施設よかトレ
<ul style="list-style-type: none"> a 地域の方が自由に参加できる b 月2回以上活動している c 毎回よかトレを実践している d 65歳以上の福岡市民が5名以上参加 e 65歳以上の福岡市民の割合が概ね6割以上 	<ul style="list-style-type: none"> a 地域の方が自由に参加できる b 月2回以上地域住民を対象によかトレを実践 c 施設の所在地が福岡市内 d 参加費用を設定する場合は無償あるいは低額

4) 認知症高齢者を支援する取組み

①認知症サポーター養成講座・認知症ユマニチュード講座 <表6>

学校、地域等において、認知症に対する正しい知識の普及や地域での見守り機能を強化することで、認知症の人が安心して暮らせる地域づくりを推進している。

	令和3年度	令和4年度	令和5年4～10月
認知症サポーター養成講座	10回 463人	18回 623人	20回 928人
（再掲）キッズサポーター養成講座※	3回 247人	3回 210人	5回 477人
（再掲）ステップアップ講座	1回 25人	2回 58人	—
認知症ユマニチュード講座	1回 48人	2回 52人	7回 287人

※キッズサポーターは小学校児童、中学校の生徒が対象

② 認知症初期集中支援推進事業 <表7>

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応につなげる支援を行っている。

～認知症初期集中支援チームとは～

認知症に係る専門的な知識・技能を有する医師の指導の下、複数の専門職が家族の訴え等により認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援等の初期の支援を包括的、集中的（概ね6ヵ月）に行い、自立生活のサポートを行うチームをいう。

内 容		令和3年度	令和4年度	令和5年4～10月
支援回数※		539件	668件	459件
新規相談受付		20件	25件	18件
受 付 経 路	地域包括支援センター	13	20	16
	病院	0	1	1
	家族	0	1	0
	区	7	3	1
チーム医会議		12回（月1回）	12回（月1回）	8回（月1回）

※支援回数には、訪問・電話・家族支援・訪問時不在・関係機関との連絡調整等を含む。

③ 認知症高齢者見守りネットワーク事業 <表8>

行方不明になる可能性のある認知症高齢者の方を早期発見・保護するため、また、家族の負担を軽減するため、警察や地域などの協力のもとにネットワーク事業を行なうもの。

内 容	令和3年度	令和4年度	令和5年4～10月
登録制度登録者数	102	97	121
検索システム利用者数（登録同時利用）	4	4	6
高齢者捜してメール登録者数	79	68	84

④ 認知症高齢者一時保護事業 <表9>

福岡市内で警察に保護された認知症の高齢者のうち、身元判明、引き取りに時間を要す方で、栄養状態や睡眠など健康上の問題を含め身体介護を要する場合には特別養護老人ホームにおいて一時的に保護するもの。

内 容	令和3年度	令和4年度	令和5年4～10月
一時保護件数	0	0	0

5) 権利擁護に関する取組み

①虐待事例対応<表 10>

- ・通報・相談を受け付け、コア会議を実施し、虐待の判断をする。
- ・月に1回、虐待事例・処遇困難事例進捗管理会議を開催し、問題点の整理や今後の支援方針の検討等を行う。

<令和4年度虐待と判断したケース>※速報値

相談・通報等対応件数(件:実数)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全市	284	291	311	347	417
博多区	47	37	36	42	50

被虐待者性別(人)

	男性	女性	計
全市	28	123	151
博多区	6	20	26

虐待の種別・類型(複数回答)

	身体的	放任・放棄	心理的	性的	経済的	累計
全市	99	40	46	0	20	205
博多区	20	7	7	0	3	26

虐待者(複数回答)

	夫	妻	息子	娘	息子の 配偶者	娘の配 偶者	兄弟 姉妹	孫	その他	計
全市	41	13	47	30	2	1	8	3	8	153
博多区	5	3	11	2	1	0	2	0	2	26

②成年後見制度支援事業 <表 11>

身寄りのない認知症高齢者などについて、市長が後見開始などの申し立てを行うことにより、後見人による財産管理や身上監護などの支援を行う。

内 容	令和3年度	令和4年度	令和5年4~10月
成年後見制度に関する相談件数	381	606	430
市長申立件数	6	6	3 ※対応中8件の内数

③被虐待高齢者一時保護事業 <表 12>

養護者からの虐待により、生命または身体に重大な危険が生じるおそれがあると認められる高齢者を老人福祉施設等に一時的に保護し、高齢者の安全を確保することを目的とするもの。

令和4年11月から施行された。

内容	R4年11月~R5年3月	R5年4月~R5年10月
一時保護件数	0	0

6) 地域ケア会議等

①地域ケア会議（令和4年度）＜表13＞

目的：「高齢者個人に対する支援の充実」と「それを支える社会基盤の整備」

会議	目的	内容	回数・人数
地域包括ケア推進会議	区における地域包括ケアの推進に向けて地域づくりや資源開発、多職種間のネットワーク構築、権利擁護の推進などを図るため、各機関の代表者などから成る推進会議を設置する。	○12/16 ・高齢者に関わる統計等報告 ・令和3年区地域包括ケア推進会議で把握した課題と取組みについて ・令和4年度地域ケア会議報告 ・意見交換	1回 26人
専門部会	権利擁護部会	○10/28 ・高齢者概況・博多区高齢者状況 ・コロナ禍における権利擁護対応状況 ・意見交換	1回 11人
	在宅医療・介護部会	○8/23 ・博多区高齢者の概況 ・博多区高齢者の相談状況 ・情報共有・意見交換 「コロナ禍における在宅医療・介護の現場の実情と課題」	1回 11人
	生活支援・介護予防部会	○11/4 ・博多区における地域包括ケアの現状 ・博多区地域包括ケア取組の推移 ・介護予防の推進状況 ・協議 「コロナ禍の高齢者への影響状況と収束に向けた地域活動再開について」	1回 11人
圏域連携会議	圏域における多職種連携のためのネットワーク構築や個別支援会議において事例検討抽出された地域課題の検討を行う。また、事例検討などを通し、専門職種の質の向上を図る。	○地域包括支援センターが主催し実施。コロナウイルス感染症の流行状況により、会場開催が困難な時期もあり、オンラインやハイブリッド開催等、手法を変え、流行期でも中止にせず、開催できるよう事前準備を行った。	5圏域 5回 191人
高齢者地域支援会議	小学校区・地区（自治協議会）単位で、地域の高齢化に関する課題や解決策等について話し合う「高齢者地域支援会議」を開催し、健康づくり・介護予防や、支え合い助け合いの仕組みづくりの支援を進める。	・自治協議会等と区の共催による意見交換会 ・健康福祉のまちづくり懇談会での意見交換 ・民生委員と医療・介護事業所との意見交換会 ほか	41回 682人
個別支援会議	医療や介護の専門職と地域住民が連携して、情報共有、見守り体制づくり、関係者間の連携体制の強化などを目指す。	・課題の共有、整理 ・支援方針の検討、役割分担 ・地域課題の抽出	75ケース 80回
介護予防型個別支援会議	自立支援・介護予防の観点を踏まえて、要支援者等の生活行為の課題解決、状態の改善ひいては生活の質の向上を目指す。	・課題の共有、整理 ・対象者ケースの状態に応じたアドバイスや具体的な対応策の提案	19ケース 19回

②医療と介護の連携強化のための取組（令和4年度）＜表14＞

取組	内容	回数 人数
職域毎の 会議・研修会	博多区訪問看護ステーション連絡会	3回
		48人
	博多区介護支援専門員会・定例会・研修会 (ケアネット博多)	3回
		145人
博多区ケアマネ交流会・研修会	5回	
	80人	
博多区MSW交流会	2回	
	31人	
事業所ネットワーク 活動支援	ワンチームHAKATAリーダー会議	4回
		98人
	事業所ネットワーク連絡会	19回
		312人
多職種連携研修会 (市医師会委託事業)	第1回 「認知症のひとを支えるために必要なもの」	3回
	第2回 「地域で取り組むACP」	310人
	第3回 「非がん疾患の在宅緩和ケア」	
在宅医療市民啓発 (市医師会委託事業)	博多区地域包括ケアシステムフォーラム 講演「認知症についての理解と地域連携」 パネルディスカッション「おひとり様で認知症になったら」	1回
		63人

参考：

- ・MSW…医療ソーシャルワーカーの略語
- ・ワンチーム HAKATA…各圏域内の医療と介護の事業所が互いにつながり合って、高齢者の健康づくり・介護予防を応援する地域貢献活動を行うボランティア団体。
- ・ACP…アドバンス・ケア・プランニングの略称。もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取組を「人生会議（ACP）」と呼ぶ。（厚生労働省 HP より）

3 (2) 令和5年度地域ケア会議の報告

役割	各種会議について	博多区地域ケア会議の実施状況
市レベル 評価・政策形成	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【市地域包括支援センター運営協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆前年度事業報告・今年度事業計画報告 ◆実績評価 ◆区・センターの取り組み報告 ◆区・センターへのフィードバック など </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【地域包括ケアシステム推進会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域包括ケアに関すること ◆市レベルのネットワーク構築 ◆区・センターへのフィードバック ◆施策への反映、予算への反映 など </div> </div>	<p style="text-align: center;">在宅医療・介護部会及び権利擁護部会 合同開催</p> <p>テーマ:「複合課題を抱える高齢者への支援」 事例紹介と意見交換で出た主なもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●博多区の特徴 <ul style="list-style-type: none"> ・単身高齢者が多く、キーパーソン不在が多い ●意思決定支援 <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象者の意向と、在宅生活の限界点との折り合い ・在宅医療の限界と医療の必要性の見極め ●医療・介護に携わる多職種連携による支援 <ul style="list-style-type: none"> ・共通の課題に向けて、支援者と共に問題解決していく ●地域や専門職による見守り支援 <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や地域住民による見守り ・警察や消防への出動要請時の対応 ●セルフネグレクトへの対応 ●認知症高齢者への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・早期発見・早期対応 ・各種事業や支援の充実・啓発活動 ●退院時支援の重要性 <ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソン不在、身寄り無、認知症の方への支援の困難さ ●事業所ネットワークによるボランティア活動 ●高齢期・救急時の備えに関するサポート <ul style="list-style-type: none"> ・救急搬送や病院受診のための安心情報キットの活用
区レベル 地域づくり・資源開発・ネットワーク構築支援	<p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">【 R5.12/1 地域包括ケア推進会議 】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">R5.10/26</p> <p style="text-align: center;">在宅医療・介護部会/権利擁護部会</p> <p>出席者: 16名</p> <p>ワーキングメンバー: 医師会・歯科医師会・薬剤師会・弁護士会・司法書士会・警察署・消防署・訪問看護ステーション・介護支援専門員・医療ソーシャルワーカー・社会福祉施設・民生委員児童委員協議会・認知症の人と家族の会・社会福祉協議会・地域包括支援センター</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">R5.11/6</p> <p style="text-align: center;">生活支援・介護予防部会</p> <p>出席者: 9名</p> <p>ワーキングメンバー: 自治協議会、衛生連合会、民生委員児童委員協議会、社会福祉協議会、老人クラブ連合会、公民館長会、介護支援専門員、食生活改善推進委員、理学療法士会、社会福祉協議会、事業所ネットワーク、地域包括支援センター</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">抽出された課題やご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身寄りのない単身高齢者の意思を尊重した支援のあり方 ●高齢者一時保護事業の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・対応可能施設の一元管理・情報共有 ●権利擁護に関する事業の体制強化と推進 <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業の活用推進 ・成年後見市長申立て業務の体制強化
概ね中学校区レベル 地域課題の把握・解決	<p style="background-color: #e0e0ff; padding: 5px;">【圏域連携会議】(テーマ) R5年4~10月 3回100名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代に向けた認知症啓発活動の展開 ・地域で暮らし続けるためのつながりづくり ・事業所ネットワーク立上げ支援・顔の見える関係づくり <p style="background-color: #ffffe0; padding: 5px; margin-top: 20px;">【高齢者地域支援会議】(テーマ) 令和5年4~10月 10回163名参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区プランを活用した継続した支え合いの取り組み支援 ・事業所ネットワークとの認知症サポーター養成講座開催支援 ・民生委員とケアマネの交流会 ・消費者被害ノックアウト! 	<p style="text-align: center;">生活支援・介護予防部会</p> <p>博多区のこれまでの取り組みや課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の担い手不足 ●地域の各種団体同士のつながり強化 ●元気なうちから意思決定支援と、看取りまでのプロセス重視 ●事業所ネットワークを含む分野横断的地域活動の推進 ●公民館やよかトレ実践ステーション、サロン等の活動拠点の充実、フレイル予防の取り組み ●いきいきセンター・事業所ネットワーク・校区保健師を含む多職種による連携と地域支援 <p>強化したい取り組みやご意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●予防的対応と介護の備え <ul style="list-style-type: none"> ・地域と事業所ネットワークとの顔の見える関係づくり ・元気なうちから介護予防ができる ●地域やコメディカルの担い手不足を補うための、横のつながりの維持と強化が必要 ●次世代ニューリーダーの育成・投資 ●買い物支援や自助活動による生活支援の充実 ●特に単身高齢者の地域活動への誘導
小学校区レベル 地域課題の発見・資源開発	<p style="background-color: #e0e0ff; padding: 5px;">【個別支援会議】(課題) 令和5年4~10月 39件(うち介護予防型個別支援会議6件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソン不在 ・認知症(疑い含む)・精神症状 ・高齢者の権利擁護・経済困窮・金銭管理 ・家族の介護力不足・負担あり ・近隣トラブル・苦情対応・住環境問題 <p style="text-align: center; font-weight: bold;">※介護予防型個別支援会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防アセスメント ・低栄養・運動機能低下 ・オーラルフレイル 	<p style="background-color: #e0e0ff; padding: 5px;">【圏域連携会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で、数年ぶりの対面開催。 ・顔の見える関係づくりができ、活発な意見交換がなされ、連携の必要性を再認識できた。 ・中学校での認知症サポーター養成講座開催を通して、事業所ネットワークと自治協議会、民生委員児童委員協議会、校区社協、学校関係者、包括支援センターの連携構築につながった。さらに、災害時対応に向けた、連携や取り組みの必要性を認識できた。 <p style="background-color: #ffffe0; padding: 5px;">【高齢者地域支援会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所ネットワークが地域に入り込み、事業所の自主活動として、元気なうちから予防的活動を行う。 ・コロナ禍で中止した地域活動を、会議や校区プランのふりかえりをきっかけに、必要性を再認識した。 ・若手人材を地域活動に導く工夫や健康寿命をのばす取り組みなど、意見交換を実施した。 <p style="background-color: #e0e0ff; padding: 5px;">【個別支援会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方を早期発見・早期対応することが重要。 ・キーパーソン不在で身近な支援者がいない方を、地域と専門職が連携して支えることが必要。 ・オーラルフレイル予防への取り組みが必要。
個別レベル 個別支援		

取組内容

●多職種連携研修会

- ・在宅から始めるACP(R5.7/24)
- ・在宅医療における看取りの実践(R5.10/20)
- ・病院の実状と退院時支援(仮)(R6.2/16予定)
- ・多職種連携のための交流会(仮)(R6.3月予定)
- ・市民フォーラム「終活について」(仮)(R6.3/9予定)

令和5年度
第1回博多区多職種連携研修会

日時 7月24日(月) 19時00分～20時30分

会場 福岡朝日ビル会議室 B1F
(福岡市博多区博多駅前2-1-1)

参加 無料

講師 「在宅から始めるACP」
講師：弁護士法人 廣・藤本法律事務所
藤本 潔 先生

定員 120名

申込締切日 7月19日(水)まで

申込方法 <https://forms.gle/FfRGZBXK5yTKHbz06>

●認知症予防啓発活動

- 世界アルツハイマー月間の取組み
- ・事業所ネットワーク・社協と協同した「RUN伴+」の活動支援
 - ・博多区役所や博多図書館内での予防啓発ブースの設置
 - ・ホームページによる情報発信の強化
- その他の認知症支援
- ・公民館や専門学校と協働した認知症カフェ立上げ支援
 - ・認知症初期集中支援チーム介入強化

9月は世界アルツハイマー月間です

「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」を推進中
～認知症になっても 自分らしく暮らせるまちをめざして～

はかたくらともぶらす2023
博多区では、「博多区RUN伴+2023」の開催を応援しています!

詳しくはこちら

●事業所ネットワークの立ち上げ支援

- ・8圏域中、6圏域活動中
- ・ネットワーク立ち上げ支援中
第2圏域(堅粕・東光)・第4圏域(席田・月隈・東月隈)

活動内容:

- ・公民館事業への参加・講師派遣
- ・ふれあいサロンでの交流
- ・認知症サポーター養成講座での講師(キャラバンメイト)活動
- ・災害時や有事の際の、共助による支え合い・協力支援



●区歯科医師会と協働したオーラルフレイル予防の支援充実

オーラルフレイル予防の健康教育を全校区で展開している。
博多区歯科医師会と協働でオーラルフレイルチェックリスト高得点者への予防活動の支援充実を目指している。

口腔のよかれ
オーラルフレイルを予防しよう!

オーラルフレイルってなに??
口から始まる体の衰えのことです。
噛み砕けず、飲み込みが、難しくなるなどの口腔機能が衰えることを意味します。
「歯の力が衰えてくると」「物をよくかむことが出来なくなると」といったことはありませんか?
それはもしかするとオーラルフレイルかもしれません。

質問項目	はい	いいえ
半年前と比べて、かたいものが食べにくくなった	2	0
お茶や物を飲む時、飲みこむことが出来る	2	0
歯痛をいれている	2	0
口の渇きが気になる	1	0
半年前と比べて、歯が少なくなった	1	0
サイズが、大きくあふれ、歯が欠けたり割れたりする	0	1
1日に2回以上、歯を磨く	0	1
1年に1回以上、歯医者に行く	0	1

合計 点

0～2点 オーラルフレイルの危険性は低い

3点 オーラルフレイルの危険性あり

4点以上 オーラルフレイルの危険性が高い

オーラルフレイル対策

口唇の保湿
口の乾燥を防ぐために、唇を乾燥しないように保湿剤を塗ります。

口の清掃
歯垢をしっかりと取り除くことが大切です。

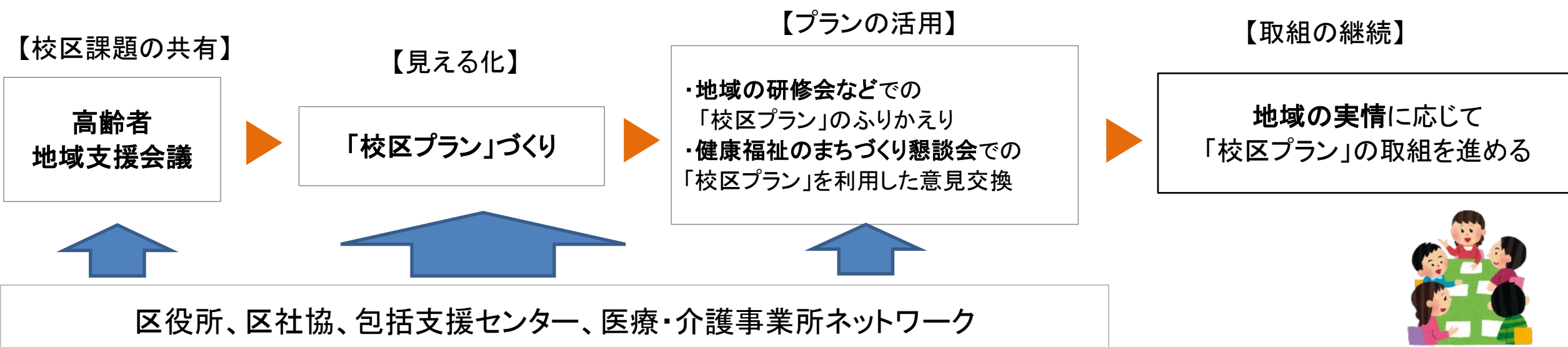
舌の運動
舌を左右に動かすことで、唾液の分泌を促します。

口の体操
口の周りの筋肉を鍛えることで、咀嚼力を向上させます。



●「校区プラン」を活用した、継続した支え合いの取組を支援

自治協を中心に校区住民で作成された「校区プラン」の取組を定期的に振り返り、校区ぐるみの取組が継続・充実されるよう、支援を進める。



ふれあいのまち 校区プラン

ふれあいの輪を広げよう

プラン1 見守りを広げよう

- ふれあいネットワークを広げよう
- 困った時は相談しよう
- 小さな助け合いをつくらう
- 色んな協力者をつなごう

プラン2 集まりを広げよう

- ふれあいサロンを増やそう
- 小さなイベント・楽しい活動
- 行事に顔を出してもらおう
- 集まりを支えよう

プラン3 健康寿命を延ばそう

- 歩いて健康づくり
- 好きなことを持とう
- 老人いこいの家を活用しよう